

第2回 インテンシブコース（在宅がん医療・緩和医療）

集中セミナー

『がん医療における在宅移行期の課題』

実施報告書

平成25年9月1日（日）13:00～16:30

高知会館 3階 飛鳥の間



中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム
高知大学医学部

第2回 インテンシブコース（在宅がん医療・緩和医療）

集中セミナー実施報告書

1. 開催概要

◇趣旨

地域でがん医療に関わる医療スタッフを対象とし、がん診療・緩和ケア・高齢者介護の視点から、在宅医療を理解し活用できる人材を育成することにより、多職種が連携し、地域に即した切れ目のない医療を提供する。また、地域連携マネジメントを担う人材の育成をする。

◇日時：平成25年9月1日（日） 13：00～16：30

◇場所：高知会館3階 飛鳥の間

◇参加者数：48名

<職種内訳>

医師	看護師	薬剤師	ケアマネジャー	ソーシャルワーカー	理学療法士	事務職員
7名	29名	3名	5名	2名	1名	1名

2. 次第

13：00 開会

13：00 - 13：05 開会挨拶

（高知大学医学部附属病院 がん治療センター 部長 小林道也）

13：05 - 13：30

第一部：講演 『拠点病院医師による事例提示～緩和医療への完全移行はいつか？～』

（高知大学医学部附属病院 がん治療センター 副部長 岡本健）

13：30 - 16：25

第二部：他職種によるワークショップ（ワールドカフェ方式）

（総合コーディネータ：高知大学医学部医療学（公衆衛生学）講座

講師 宮野 伊知郎）

テーマ『がん医療における在宅移行期の課題』

1 ラウンドテーマ「在宅移行期のタイミング」

2 ラウンドテーマ「療養場所の選択」

3 ラウンドテーマ「在宅移行の具体的支援」

16：25 閉会挨拶

16：30 終了

3. 実施内容

高知大学医学部附属病院がん治療センター
部長 小林道也より開会の挨拶があり、
インテンシブコース（在宅がん医療・緩和医療）
集中セミナーの説明があった。



第一部では高知大学医学部附属病院 がん治療センター 副部長 岡本健による『拠点病院医師による事例提示 ～緩和医療への完全移行はいつか？～』の講演があった。



第二部では、他職種によるワークショップ（ワールドカフェ方式）を行った。

◇「ワールドカフェ」とは、リラックスした雰囲気の中、少人数のグループで自由な対話を行い、ときどきメンバーをシャッフルすることにより、参加者全員が知識や考えを共有でき、多様な意見の創出が期待される手法です。

～ワールドカフェの特徴～

1. 4人1グループで決められたテーマについて話し合う。
2. 1ラウンド20～25分程度で数ラウンド行う。
3. 1人を残してラウンドごとにメンバーを交換する。
4. ラウンド中は、模造紙に思いついたことを自由に書く。
5. ラウンド後に話し合いの中で出たアイデアや気づきをグループや全体で共有する。

◇ワールドカフェの進行



総合コーディネータの宮野伊知郎（高知大学医学部医療学（公衆衛生学）講座 講師）により、ワールドカフェの説明があった。



以下9名の先生方にファシリテータを務めていただいた。



弘末 美佐 先生
（高知県立大学）



小松 君子 先生
（訪問看護ステーション希望）



松本 務 先生
（あおぞら診療所高知潮江）



伊与木 増喜 先生
（伊与木クリニック）



山本 博憲 先生
（山本循環器内科・眼科）



北岡 智子
（高知大学医学部附属病院
麻酔科蘇生科 講師）



岡本 健
（高知大学医学部附属病院
がん治療センター 副部長）



野村 政孝
（高知大学医学部附属病院
薬剤部）



星川 理恵
（高知大学医学部附属病院
看護部）

★第1ラウンド

最初のテーブルで1ラウンドテーマについて話し合っていた。

1ラウンドテーマ：「在宅移行期のタイミング」

☆席替え

各テーブルで「ホスト」を決め、「ホスト」1名を残して、他のメンバーは別々のテーブルへ移動。

★第2ラウンド

席替え後、「ホスト」から1ラウンドテーマについて、テーブルで語られた話を聞き、新しいメンバーから前のテーブルで語られた話を紹介した後、2ラウンドテーマについて話し合っていた。

2ラウンドテーマ：「療養場所の選択」

☆席替え

「ホスト」1名を残して、他のメンバーは別々のテーブルへ移動。

★第3ラウンド

席替え後、「ホスト」から2ラウンドテーマについて、テーブルで語られた話を聞き、新しいメンバーから前のテーブルで語られた話を紹介した後、3ラウンドテーマについて話し合っていた。

3ラウンドテーマ：「在宅移行の具体的支援」

☆席替え

参加者は第1ラウンドのテーブルに戻る。

★振り返り・発表

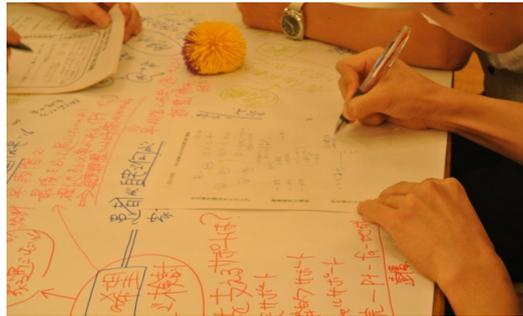
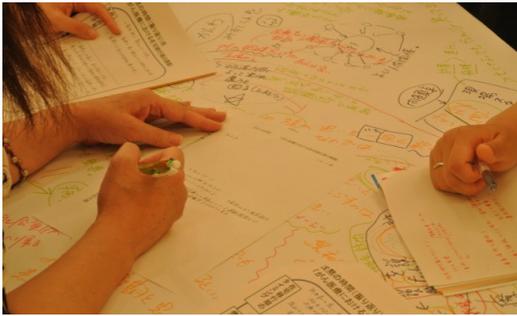
語り合った内容を基に、各参加者がアイデアや気づきを個人のシート等へ書きこみ、自分の中で整理し、その後テーブル内で共有した。

発表は、各テーブルでそれぞれのまとめを完成させたものを、いくつかのテーブルに発表していただいた。



参加者は、和やかな雰囲気の中、各テーブル内で自由にテーマに沿ったトークを行った。ラウンド終了の合図は挙手でいき、気付いた人から挙手し、全員に広がって終了という形をとった。





◆いくつかのテーブルにまとめを紹介していただいた。



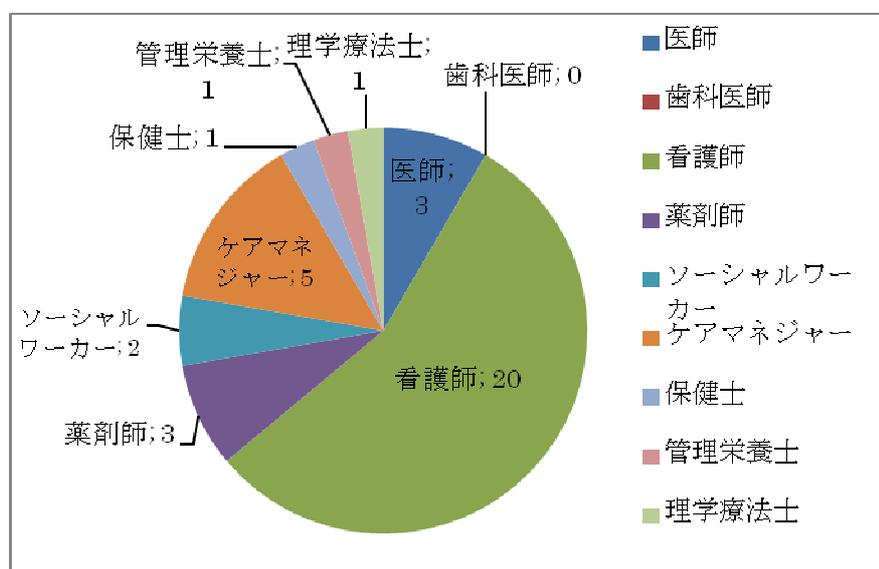
最後に小林道也より閉会の挨拶があり、盛況のうちに終了した。

在宅がんおよび緩和医療における問題点を再認識し、施設間及び多職種の連携構築と業務に対する意欲喚起につながる、実りあるセミナーとなったようだ。

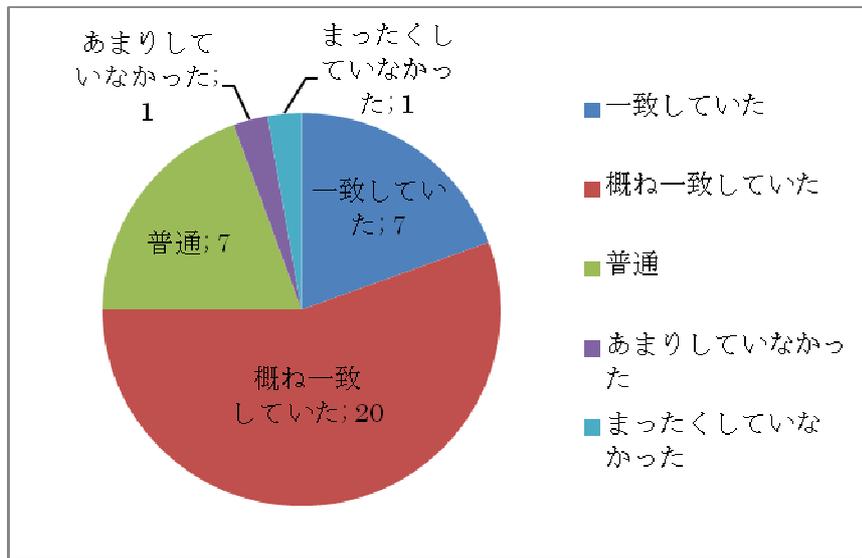
第2回インテンシブコース（在宅がん医療・緩和医療） アンケート集計結果

セミナー参加者 48 名、回収用紙 36 名、回答率 75%

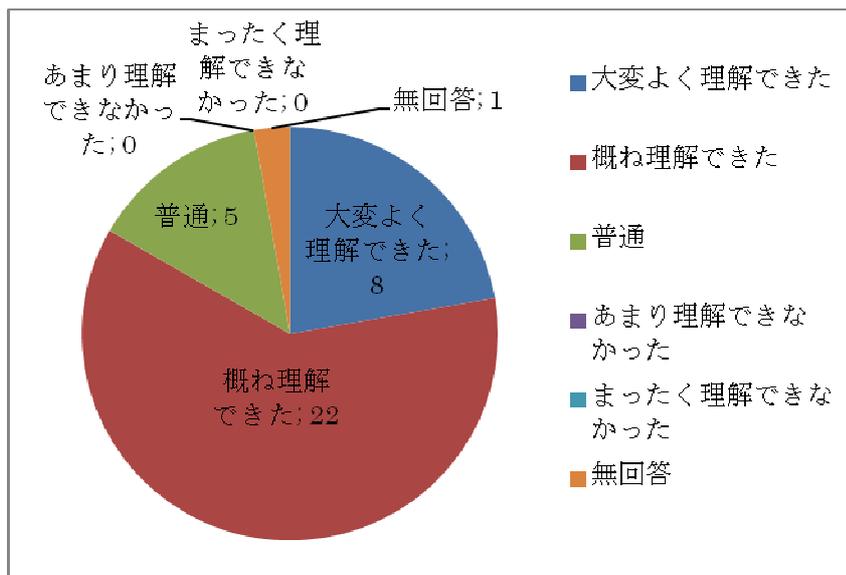
回答者の職種



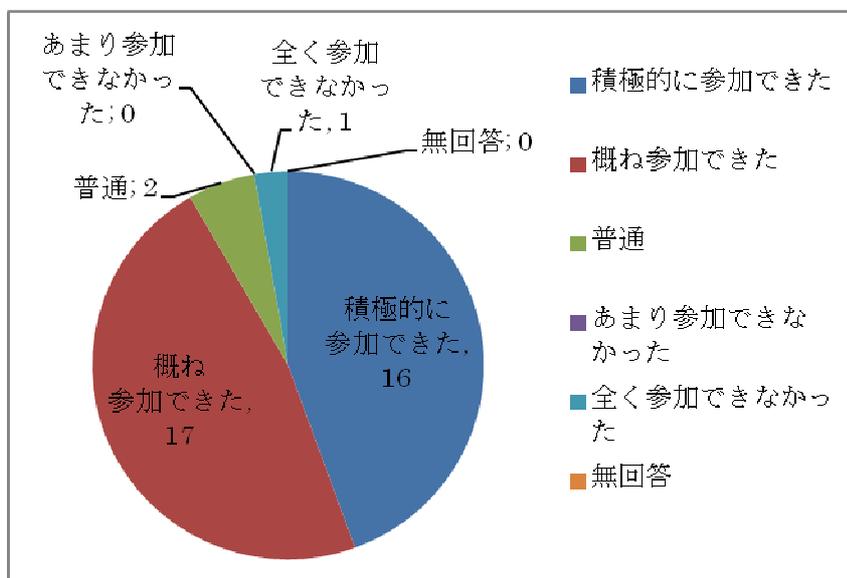
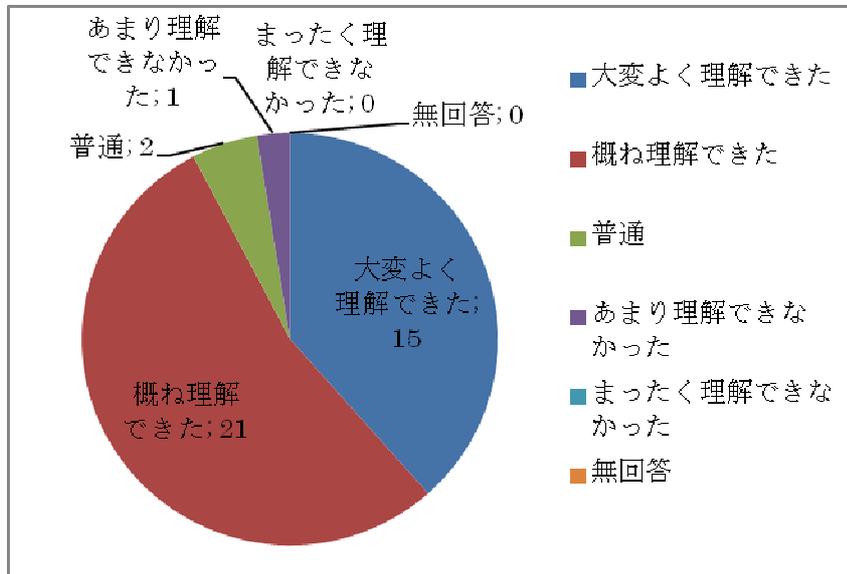
問1 今回の内容は自分が期待していたものと一致していましたか



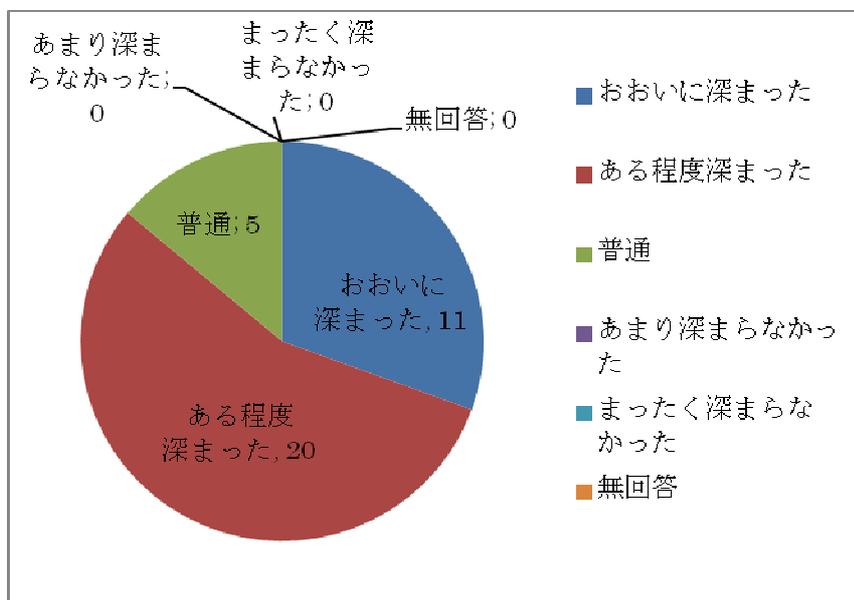
問2 第1部（拠点病院医師による事例提示）の内容はどうでしたか



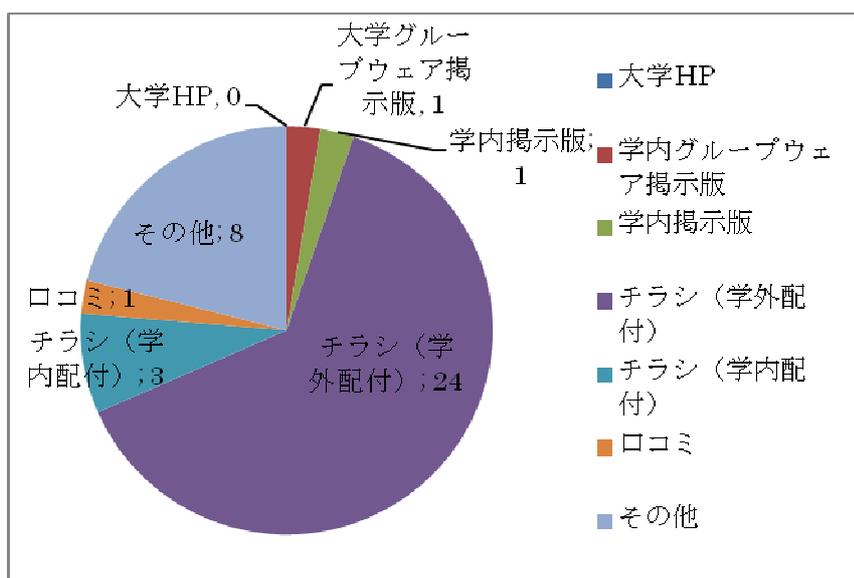
問3 第2部（他職種によるワークショップ（ワールドカフェ方式））の内容はどうでしたか



問4 今回のセミナーに参加してがん医療における在宅移行についての知識は深まりましたか



問5 (1) 今回のセミナー開催はどのようにして知りましたか

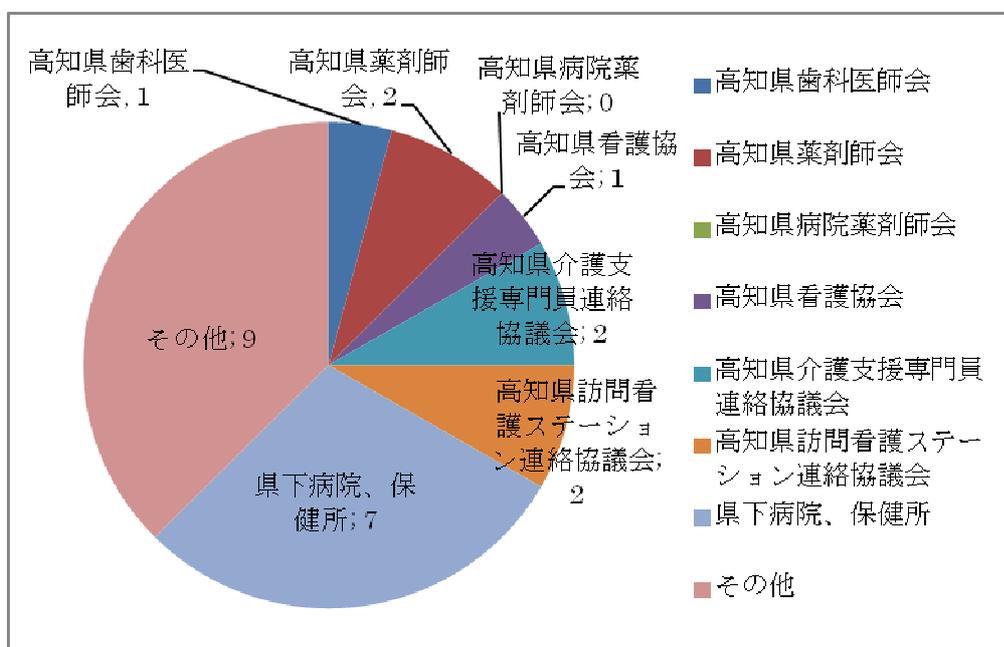


その他 ; 8 (内訳)

- ・封筒で
- ・忘れた

- ・職場のチラシ
- ・病院ホームページ
- ・研修参加の時配付されたチラシにより
- ・院内回覧
- ・無回答
- ・無回答

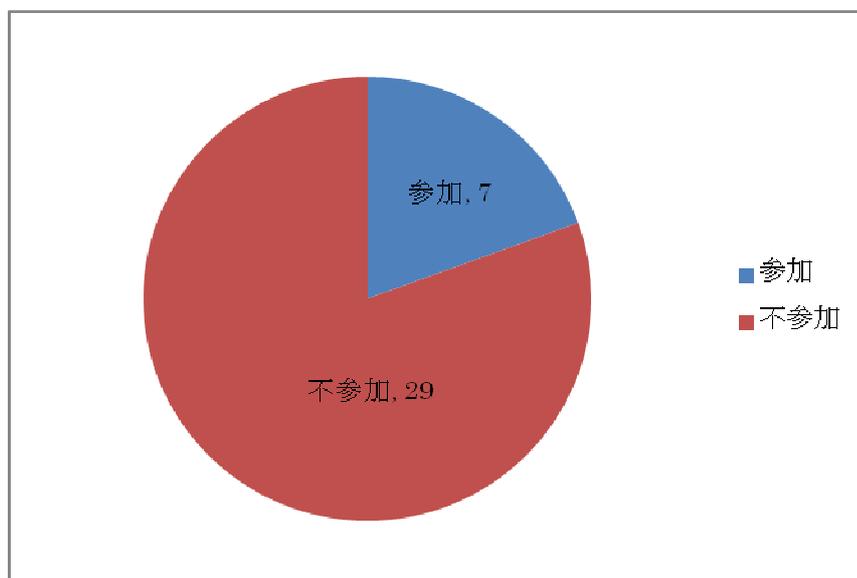
問5 (2)(1)で「チラシ(学外配付)」を選択した方はどこに配付されたもので知りましたか



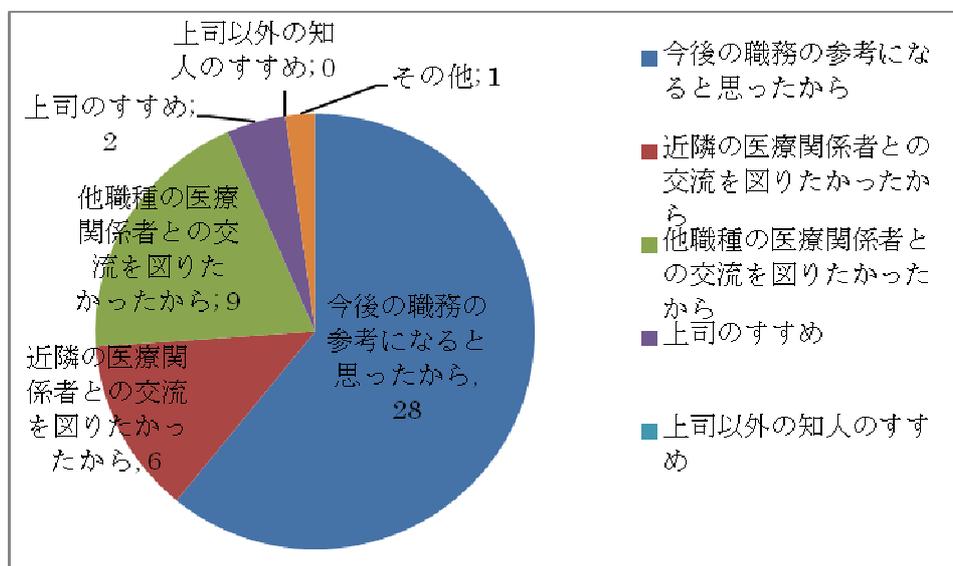
その他；9 (内訳)

- ・市町村
- ・在宅緩和ケア推進協議会
- ・8/3 福祉交流プラザ
- ・教員からもらった
- ・高知県立大
- ・高知県立大学
- ・事務所
- ・無回答
- ・無回答

問6 第1回インテンシブコース集中セミナー（平成24年度開催）に参加されましたか



問7 今回のセミナーへの参加についての動機は何ですか（複数回答あり）



その他； 1 （内訳）

- ・ 癌患者さんの助けになりたいから

問8 次回に向けて改善した方が良いと思う点をお願いします

- ・ セミナーの目的をはっきりすべき。国の政策である入院→在宅その一環と思われませんが。
- ・ 話題がそれでも、修正できないので無意味な時間がある場合があった。
- ・ ニックネームで呼びあう機会まではなかった。
- ・ 席替えした時、前グループの意見の概要を説明する為、「旅人」は手持ちのメモにグループの意見をメモし、「ホスト」のみが模造紙に当該グループの意見を記録。ホストは記録を用いて新たな旅人に当該グループの意見概要を説明する方式としたらよいのではないかと感じた。
- ・ 皆さん全員と話したかった。NS3名でかたまった時があった。
- ・ できたら講義内容の資料をいただけたらと思います。
- ・ もっとたくさん在宅診療、拠点病院の医師、ケアマネージャーさん、SW、看護師、とセッションしてみたいです。
- ・ BGMの音が大きくて、メンバーの声聞きづらかった。
- ・ 高知県医療ソーシャルワーカー協会の後援がなかったため、病院への案内で目にするのがなければ、MSWには周知できなかったようです。
- ・ 3ラウンドで内容が多い…。
- ・ 薬剤師会の研修とブッキングしてしまったのが残念でした。ワークショップ形式はとても良いと思います。

問9 何かご意見・ご感想があればお願いします

- ・ 今後入院施設入所ができなくなる可能性があることは医療福祉関係者は知るべき、そうすればこのセミナーが生きてくると思います。
- ・ いろんな方の御意見が聞け、知識が広がったと思います。勉強になりました。
- ・ 他職種との交流や実際の方とふれられて有意義でした。今日の会のイメージがなかったのも、はじめはとまどいでしたが参加してよかったです。
- ・ とても有意義な時間を過ごすこと出来て良かったです。
- ・ 色々な方の意見をお聞きする機会となりました。ありがとうございます。
- ・ 大人数なのでみんなの顔と所属がいつちしません。座席名表があれば、電話で話した人の顔がわかりあいさつできやすかったです。
- ・ 楽しかったです。よい休日となりました。仕事にいかします。
- ・ 参加させていただき大変勉強や気付きがありました。進行も雰囲気もとてもスムーズ、明るくて、素晴しかったです。ありがとうございました。
- ・ 在宅（自宅以外の施設も含め）への移行。横のつながりの大切さ、コミュニケーション不足がある事がわかり、今後はもっと積極的につながっていき患者さ

ん一人一人の希望がかなう在宅がん医療、緩和医療になっていかないといけな
いと思います。

- ・ 他職種、そして働く環境の違う方と話し合えてとても良かった。でもやっぱり
こういう場に集まるのは緩和や在宅、連ケイに熱意を持たれている方ばかりで、
本当に知ってもらいたいスタッフは日曜日には出てきてくれません。今日学ん
だことを院内に持ち帰り、他のスタッフにも伝えたいです。スタッフの皆さん
本当にお疲れさまでした!!
- ・ 他職種によるワークショップは、たくさんの異なる職種の方の意見が聞けるの
で良いと思います。
- ・ 3ラウンドで多くの内容、知識について深められたと思います。
- ・ ワールドカフェ方式は新たな取り組みで楽しく対話ができ良かったです。
- ・ 県内で“在宅”や“緩和”と冠した勉強会（グループ）が複数存在しますが、
同じ顔が集まるのなら1つにして大きなネットワークを作れたら良いので
は?と思います。
- ・ 台風は直げきせずブレーンストーム直げきです。みなさんから良い影響を受け
ました。
- ・ 本当に楽しい時間、有意義な時間でした。ありがとうございました。